

1. 履修案内 Guide of Registration of Class Subjects

(1) 博士前期課程修了要件について Course Requirements

博士前期課程の修了の要件は、同課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、研究科の行う学位論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。

但し、特に優れた研究業績を上げた者については、同課程に1年以上の在学をもって修了することもできます。

To complete the master's course, students must attend the course for more than 2 years, complete 30 or more credits and also receive the necessary research instruction. Then their dissertation must pass the final examination and screening of the evaluation committee.

However, students who have accomplished considerable academic achievement might be conferred a master's degree with just one year of attendance

(2) 授業科目の履修について Subjects registration

博士前期課程で開設している授業科目、単位数、担当教員は45ページ以降に掲載のとおりです。

博士前期課程の学生は、研究科規程の別表に掲げる授業科目を、その履修方法に従い、30単位以上履修しなければなりません。

The list of class subjects opened, number of credits, and person in charge for the Master's course are explained on p45.

Master's course students are required to obtain at least 30 credits as instructed in the Regulation of Graduate School.

(3) 授業科目のシラバス・時間割について Syllabus

博士前期課程で開設している授業科目の概要や授業計画等の詳細な内容は、本学ホームページに掲載しています。各自、インターネットで確認してください。

岡山大学ホームページ→在学生・保護者の方→シラバス

Details of class subjects offered for the Master's course (outline & syllabus) can be found on Okayama University's homepage. Please consult the syllabus on the web.

URL: https://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html

博士前期課程時間割は、本研究科ホームページに掲載しています。

ヘルスシステム統合科学研究科→在学生・保護者の方→シラバス・時間割等

Details of class subjects offered for the Master's course (outline & syllabus) can be found on Graduate School of Interdisciplinary Science and Engineering in Health System's homepage.

URL: <https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/student/>

(4) 履修登録について Registration of Class Subjects

博士前期課程の学生は、履修を希望する科目については、学年又は学期の始めの指定された期間に、学務システムにより登録することが必要です。

Registration must be done using the Course Registration System during the fixed period at the beginning of fiscal year and new semester.

(5) 修得単位の認定 Accreditation

各授業科目の単位修得の認定は、試験又は研究報告により担当教員が行います。上記にかかわらず、「特別研究」の授業科目については、平素の成績により、単位の修得を認定することができますとされています。

Instructors of each class accredit completion of credits through examinations or research reports. However, accreditation might be given through student's daily performance for Research Works.

(6) 成績 Grades

成績の評価は、A+, A, B, C, 修了, 認定及びFをもって表記し、A+, A, B, C, 修了, 認定を合格(単位修得)、Fを不合格(単位未修得)としています。なお、履修登録をしたにもかかわらず、試験を受けていない等で成績評価の資料を欠く場合についてもF(この場合は、0点扱い。)と表記します。

評価基準 A+ (100~90点), A (89~80点), B (79~70点), C (69~60点), F (59点以下)

Grade evaluations are described as "A+", "A", "B", "C", "Completed", "Approved" and "F".

Among these, "A+", "A", "B", "C", "Completed", "Approved" are passing marks (credits granted) and "F" is a failing mark (credit not granted). In the case in which the student registered for the course but did not take the final test, the result will be an insufficient evaluation. The student's grade will be recorded as "F" (in this case, the grade point is 0.)

Evaluation is based on your score as follows:

A+: 100-90 points, A: 89-80 points, B: 79-70 points, C: 69-60 points, F: 59 points or below.

(7) 他大学の大学院の授業科目の履修について Transfer of credits

博士前期課程の学生が、他大学の大学院(外国の大学院等を含む。)の授業科目の履修を希望するときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、許可を得なければなりません。なお、履修した単位は、15単位を限度として認定することができます。

Students who wish to transfer credits from other universities (including foreign graduate schools) must first obtain approval from respective supervisors, followed by that of the Dean of the Graduate School.

Transfer of credits is limited to 15 credits out of all credits required for graduation.

(8) 他大学の大学院等での研究指導の派遣について

Attending course off-campus (Dispatch to other graduate school)

博士前期課程の学生が、他大学の大学院(外国の大学院等を含む。)又は研究所等において研究指導を受けようとするときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、許可を得なければなりません。派遣期間は1年以内です。

Students who belong to the Master's course must obtain approval from a supervisor to get permission from the Dean of the Graduate School when they intend to receive research instruction at other universities (including foreign graduate schools) or at research institutions. The dispatch period is limited to 1 year.

2. ヘルスシステム統合科学研究科 博士前期課程カリキュラム Curriculum

履修方法

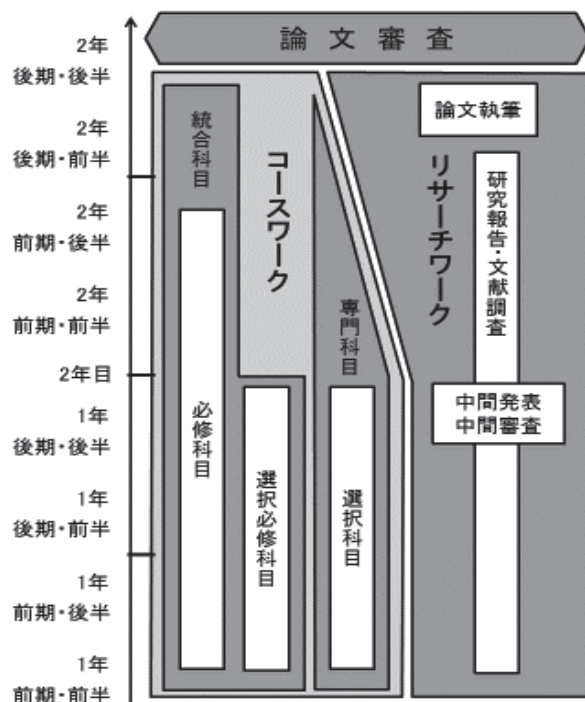
- 1 指導教員の指導により、30単位以上を修得すること。
- 2 統合科目の中から、必修科目20単位を修得し、かつ、選択必修科目の中から、4単位以上を修得すること。
- 3 上記の他、指導教員の指導により、他研究科開講科目（他大学院開講科目を含む）を履修することができる。
- 4 指導教員が特に必要があると認めた者は、2年次配当必修科目を1年次で履修する事ができる。
- 5 必修科目「ヘルスシステム統合科学特別研究」「ヘルスシステム統合科学専門英語」は、別表1を参照の上、正指導教員の所属教育研究分野の講義番号で履修すること。
- 6 他研究科の授業科目を履修し取得した単位は、専門科目として修了要件に算入することができる。

科目区分	講義番号	授業科目の名称	単位数	担当教員	備考	
統合科目	必修科目	490034	リーダーシップとSDGs	2	石田 衛 教授	20単位を修得すること。
		別表1参照	ヘルスシステム統合科学特別研究	10	各指導教員	
		490008	実践ヘルスシステム統合科学	1	各指導教員	
		490026	ヘルスシステム統合科学序論	1	吉葉 恭行 教授	
		490002	医学研究概論	1	渡邊 豊彦 教授	
		490011	倫理総論	1	日笠 晴香 准教授	
		490027	ヘルスシステム統合科学総論	1	森田 瑞樹 教授	
		490028	技術表現発表学	2	各指導教員	
	別表1参照	ヘルスシステム統合科学専門英語	1	各指導教員		
	選択必修科目	490031	医療政策	1	浜田 淳 (非常勤講師)	4単位以上を修得すること。
		490032	ケアの比較文化論	1	古澤 有峰 (非常勤講師)	
		490012	医療管理	1	渡邊 豊彦 教授	
		499001	ヘルスシステム統合科学インターンシップ	2	紀和 利彦 教授	
		490014	ビッグデータ構築・解析学	1	横平 徳美 教授	
		490017	医療ビジネスマネジメント概論	1	未 定 (非常勤講師)	
		490022	バイオ・創薬科学概論	1	徳光 浩 教授	
		490023	医療機器材料学概論	1	横平 徳美 教授	
		490024	ヒューマンケアイノベーション概論	1	本村 昌文 教授	
		490025	ヘルスケアサイエンス概論	1	笈田 将皇 准教授	
		490029	先進病院実習	2	原田 奈穂子 教授	
490030		老人人文学	1	未 定 (非常勤講師)		
専門科目	491001	人工生体機能分子設計学 **	1	世良 貴史 教授		
	491002	分子酵素学 *	1	森 友明 講師		
	491003	分子生理学 *	1	井出 徹 教授		
	491004	遺伝子機能制御工学 **	1	早川 徹 助教		
	491005	細胞内シグナル伝達科学 **	1	徳光 浩 教授		
	491006	細胞機能工学 *	1	金山 直樹 准教授		
	491007	生体材料設計学 *	2	早川 聡 教授		
	491008	生体材料科学 *	1	吉岡 朋彦 准教授		
	491009	RNA工学 *	1	大槻 高史 教授		
	491010	蛋白質分子工学 **	1	二見 淳一郎 教授		
	491012	分子細胞生物学 *	1	平野 美奈子 准教授		
	491013	オルガネラシステム工学 **	1	佐藤 あやの 准教授		
	491015	生体分子輸送学 **	1	渡邊 和則 准教授		
	491901	組織工学概論	1	松本 卓也 教授		
	492001	音声情報処理特論Ⅰ	1	阿部 匡伸 教授		
	492002	音声情報処理特論Ⅱ	1	阿部 匡伸 教授		
	492003	情報学習理論	1	相田 敏明 講師		
	492004	ネットワークアーキテクチャⅠ	1	横平 徳美 教授		
	492005	ネットワークアーキテクチャⅡ	1	横平 徳美 教授		
	492007	光計測工学特論	1	紀和 利彦 教授		
	492015	センサデバイス学	1	王 礎 准教授		
	492014	実験データ処理のための統計入門	1	中澤 篤志 教授		
	492010	認知神経科学	2	楊 家家 教授		

専門科目	492011	生体信号処理特論	2	高橋 智 准教授	
	493001	ヘルスプロモーション科学	2	笈田 将皇 准教授	
	493015	ヘルスシステムマネジメント学	1	渡邊 豊彦 教授	
	493016	看護科学 I	1	原田 奈穂子 教授	
	493006	生命健康情報理工学特論 I	1	笈田 将皇 准教授	
	493007	生命健康情報理工学特論 II	1	笈田 将皇 准教授	
	493008	生命健康情報理工学演習	1	笈田 将皇 准教授	
	493017	生体情報解析学 I	1	森田 瑞樹 教授	
	493018	生体情報解析学 II	1	森田 瑞樹 教授	
	493011	医療対話学 **	2	原田 奈穂子 教授	
	493012	機能修復医学特論	1	松尾 俊彦 教授	
	493901	臨床科学概論	1	狩野 光伸 教授	
	493014	疫学入門	2	津田 敏秀 教授	
	493903	医療システムデザイン学	1	松本 卓也 教授	
	494017	老いと看取りと死の日本文化論 I	1	本村 昌文 教授	
	494018	老いと看取りと死の日本文化論 II	1	本村 昌文 教授	
	494023	宗教と哲学から考える共生	1	袴田 玲 講師	
	494024	身体をめぐる宗教哲学思想	1	袴田 玲 講師	
	494021	高齢社会科学技術論 I	1	吉葉 恭行 教授	
	494022	高齢社会科学技術論 II	1	吉葉 恭行 教授	
	494007	臨床死生学 I	1	日笠 晴香 准教授	
	494008	臨床死生学 II	1	日笠 晴香 准教授	
	494009	医療福祉制度比較論	1	古澤 有峰 (非常勤講師)	
	494010	ソーシャルイノベーション論	1	藤井 大児 教授	
	494025	医療関係法 I (医療行為法)	1	穴戸 圭介 教授	
	494026	医療関係法 II (医療機関法)	1	穴戸 圭介 教授	
	494014	医療経営法務 *	1	佐藤 吾郎 教授	
	494019	イノベーションのマネジメント I	1	藤井 大児 教授	
	494020	イノベーションのマネジメント II	1	藤井 大児 教授	
	494902	リスクマネジメント概論	1	築達 延征 (非常勤講師)	
	修了要件 単位数			30単位以上	

*, **の科目は隔年開講。 *の科目は2024年度は開講しない。

カリキュラムマップ：



別表1

講義番号	部門	通年		後期		教育研究分野	所属教員	
		490111	490112	490311	490312			
講義番号	バイオ・創薬	ヘルスシステム統合科学特別研究	490111	490311	生体機能分子設計学	世良 貴史 森 友明 森 光一		
			490112	490312	1分子生物化学	井出 徹 平野 美奈子 早川 徹		
			490113	490313	細胞機能設計学	徳光 浩 曲 正樹 大塚 里美		
			490114	490314	無機バイオ材料工学	早川 聡 吉岡 朋彦 片岡 卓也		
			490115	490315	生体分子工学	大槻 高史 渡邊 和則 高原 茉莉		
			490116	490316	オルガネラシステム工学	佐藤 あやの		
			490118	490318	蛋白質医用工学	二見 淳一郎 宮本 愛		
			490119	490319	分子細胞工学	金山 直樹		
			490121	490321	人間情報処理学	阿部 匡伸 相田 敏明		
	490122	490322	医用情報ネットワーク学	横平 徳美				
	490123	490323	先端医用電子工学	紀和 利彦 王 礎				
	490124	490324	インタフェースシステム学	中澤 篤志				
	490125	490325	認知神経科学	楊 家家 高橋 智				
	490137	490337	ヘルスシステムマネジメント学	渡邊 豊彦				
	490138	490338	看護科学	原田 奈穂子				
	490132	490332	生体情報科学	森田 瑞樹				
	490133	490333	放射線健康支援科学	笈田 将皇				
	490135	490335	生体機能再生再建医学	松尾 俊彦				
	490136	490336	医療技術臨床応用学	狩野 光伸				
	490142	490342	日本文化論	本村 昌文				
	490148	490348	宗教人間文化論	袴田 玲				
	490144	490344	医事法学	穴戸 圭介				
	490145	490345	科学史技術論	吉葉 恭行 古俣 めぐみ				
	490146	490346	臨床死生学	日笠 晴香				
	490147	490347	ソーシャルイノベーション論	藤井 大児				
			490101	490401	WEBシラバス検索用 (この番号で履修登録はできません)			

※ 上記2科目の内容を検索する場合は、WEBシラバス検索用番号で検索すること。

※ ヘルスシステム統合科学特別研究を1年次で履修する場合(早期修了を希望する場合は)、指導教員と相談の上、学務課へ連絡すること。

3. 学会発表・実践的活動等の単位認定

Credit Recognition of Academic Meeting Presentations and Practical Activities

学会に参加しての発表，またはインターンシップ等実践的活動をもって，研究科の単位として認定することができます。

学会発表の時間及び事前準備，事後報告等の時間を含め，各科目が指定している時間の学修などにより，単位数が定められています。成績評価は「修了」となります。

We grant students credit required to finish the graduate school with practical activities such as presentation at international conference and internship abroad and domestic. Grade evaluations are described as “Completed”.

『グローバル実践科目』 Practicum courses in global activities

授業科目名 Subjects	単位数 Credits	対象 Activities for Recognition
グローバル・プレゼンテーションA Presentation at International Conference A	1	国外開催の国際学会における発表 Presentation at an international academic meeting held overseas
グローバル・プレゼンテーションB Presentation at International Conference B	1	国内開催の国際学会における発表 Presentation at an international academic meeting held in Japan
インターナショナル・インターンシップ（短期） International Internship (short term)	1	国外における実践的活動 Practical activities at overseas
インターナショナル・インターンシップ（長期） International Internship (long term)	2	国外における実践的活動 Practical activities at overseas

『学外実践科目』 Practicum courses in domestic activities

授業科目名 Subjects	単位数 Credits	対象 Activities for Recognition
インターンシップ（短期） Internship (short term)	1	国内における実践的活動 Practical activities in Japan
インターンシップ（長期） Internship (long term)	2	国内における実践的活動 Practical activities in Japan

【単位認定手続】 Application procedure

申請期間 Application Period	年2回（6月と12月） Twice a year (June and December)	
提出書類 Documents to submit	単位認定申請書 Application form for Credit Recognition 学会等での発表，または研究機関，企業・団体等における実践的活動を確認できる証拠書類 Documents to proof your participation to the meeting or activities	
提出先 Place to submit	ホームページに掲載 Please check on HP	留学生：詳細は指導教員へ尋ねてください。 International Students: Please ask to your supervisor.

詳細は，研究科のホームページで確認してください。Please check more detail with the URL

<https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/student/recognition/flow/>

4. 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科における修士論文の評価基準

(審査体制)

審査委員2人以上で構成される学位審査委員会を設置する。

(審査方法)

学位審査委員会の合議によって行う。また、審査にあたり論文発表会を開催するものとする。

(評価基準)

大学院ヘルスシステム統合科学研究科における学位（修士）論文は、以下の基準により評価する。

1. 修士論文申請者は、学部教育で学んだ専門に重層して他専門領域の手法を学び、課題を創造的に解決する能力と専門的知識を有することにより、社会の多様な場で課題解決に貢献できる専門知識と研究能力を有していること。
2. 申請の修士論文は、信頼性の高い結果と誠実な考察に基づいて、明快かつ論理的に書かれていること。
3. 論文記載の研究成果は、申請者による研究の成果であり、新規性・独創性を持ち、当該研究領域の更なる進展に貢献する結果を含んでいると認められること。
4. 研究が共同研究としてなされたものである場合、研究遂行が申請者によって主体的になされていることが認められること。

以 上

1. 履修案内 Guide of Registration of Class Subjects

(1) 博士後期課程修了要件について Course Requirements

博士後期課程の修了の要件は、同課程に3年以上在学し、12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で、研究科の行う学位論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。

但し、特に優れた研究業績を上げた者については、同課程に1年以上の在学をもって修了することもできます。

To complete the doctor's course, students must attend the course for more than 3 years, complete 12 or more credits and also receive the necessary research instruction. Then their dissertation must pass the final examination and screening of the evaluation committee.

However, students who have accomplished considerable academic achievement might be conferred a doctor's degree with just one year of attendance.

(2) 授業科目の履修について Subjects registration

博士後期課程で開設している授業科目、単位数、担当教員は53ページ以降に掲載のとおりです。

博士後期課程の学生は、指導教員の指導により12単位以上履修しなければなりません。

The list of class subjects opened, number of credits, and instructors for the Doctor's course are explained on p53 and after. Doctor's course students must take 12 or more credits under the guidance of supervisor.

(3) 授業科目のシラバスについて Syllabus

博士後期課程で開設している授業科目の概要や授業計画等の詳細な内容は、本学ホームページに掲載しています。各自、インターネットで確認してください。

岡山大学ホームページ→在学生・保護者の方→シラバス

Details of class subjects offered for the Doctor's course (outline & syllabus) can be found on Okayama University's homepage. Please consult the syllabus on the web.

URL: https://www.okayama-u.ac.jp/tp/student/syllabus_link.html

(4) 履修計画について Planning for Registration

履修計画の作成及び授業科目の履修にあたっては、正指導教員及び副指導教員の指導を受けて、指定の期日までに履修計画表を自然系研究科等学務課大学院担当に提出してください。

When planning your study, after getting advised from your supervisor and co-supervisors, please submit your Study Planning Sheet to the Graduate School Section by the designated date.

学位論文の作成や他大学大学院での研究及び早期修了等に備えるため、授業科目は1年次に履修することをお勧めします。

We recommend completion of subjects described above during the first year so that students can prepare for their doctoral thesis, receiving research guidance in other graduate schools or studying abroad.

(5) 成績 Grades

成績の評価は、A+, A, B, C, 修了, 認定及びFをもって表記し、A+, A, B, C, 修了, 認定を合格(単位修得)、Fを不合格(単位未修得)としています。なお、履修登録をしたにもかかわらず、試験を受けていない等で成績評価の資料を欠く場合についてもF(この場合は、0点扱い。)と表記します。

評価基準 A+ (100~90点) , A (89~80点) , B (79~70点) , C (69~60点) , F (59点以下)

なお、成績確認については、担当窓口の掲示等に従い、各自インターネットで確認してください。

Grade evaluations are described as "A+", "A", "B", "C", "Completed", "Approved" and "F".

Among these, "A+", "A", "B", "C", "Completed", "Approved" are passing marks (credits granted) and "F" is a failing mark (credit not granted). In the case in which the student registered for the course but did not take the final test, the result will be an insufficient evaluation. The student's grade will be recorded as "F" (in this case, the grade point is 0.)

Evaluation is based on your score as follows:

A+: 100-90 points, A: 89-80 points, B: 79-70 points, C: 69-60 points, F: 59 points or below.

Please check your own results on the internet.

(6) 他大学の大学院の授業科目の履修について Transfer of credits

博士後期課程の学生が、他大学の大学院(外国の大学院等を含む。)の授業科目の履修を希望するときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、許可を得なければなりません。

なお、履修した単位は、6単位を限度として認定することができます。

Students who wish to transfer credits from other universities (including foreign graduate schools) must first obtain approval from respective supervisors, followed by that of the Dean of the Graduate School.

Transfer of credits is limited to 6 credits out of all credits required for graduation.

(7) 他大学の大学院等での研究指導の派遣について

Attending course off-campus (Dispatch to other graduate school)

博士後期課程の学生が、他大学の大学院(外国の大学院等を含む。)又は研究所等において研究指導を受けようとするときは、所定の様式により指導教員の承認を受けて、研究科長に願い出て、許可を得なければなりません。

Students must obtain approval from a supervisor to get permission from the Dean of the Graduate School when they intend to receive research instruction at other universities (including foreign graduate schools) or at research institutions.

2. ヘルスシステム統合科学研究科 博士後期課程カリキュラム Curriculum

履修方法

- 1 指導教員の指導により、12単位以上を修得すること。
- 2 統合科目の中から、必修科目7単位を修得すること。
- 3 上記の他、指導教員の指導により、他研究科開講科目（他大学院開講科目を含む）を履修することができる。
- 4 他研究科（他大学院）の授業科目を履修し修得した単位は、専門科目として修了要件に算入することができる。

科目区分	講義番号	授業科目の名称	単位数	担当教員	備考
統合科目	780301	ヘルスシステム統合科学アドバンスインターンシップ	2	専任教員	7単位を修得すること。
	780501	ヘルスシステム統合科学特別研究	4	指導教員	
	780101	ヘルスシステム統合科学特論	1	指導教員	
専門科目	781001	生体機能制御学	1	世良 貴史 教授	12単位以上
	781002	酵素機能解析学	1	森 友明 講師	
	781003	1分子生理学	1	井出 徹 教授	
	781004	シグナル伝達創薬	1	徳光 浩 教授	
	781005	細胞機能開発学	1	金山 直樹 准教授	
	781006	生体素材開発学	1	早川 聡 教授	
	781007	生体材料表面科学	1	吉岡 朋彦 准教授	
	781008	化学生物学	1	大槻 高史 教授	
	781009	蛋白質分子設計学	1	二見 淳一郎 教授	
	781013	生物物理学	1	平野 美奈子 准教授	
	781012	オルガネラ機能情報設計学	1	佐藤 あやの 准教授	
	781014	分子輸送学	1	渡邊 和則 准教授	
	781901	組織工学特論	1	松本 卓也 教授	
	782001	ヒューマンインタフェース特論	1	阿部 匡伸 教授	
	782002	情報数理論	1	相田 敏明 講師	
	782003	ネットワーク性能評価論	1	横平 徳美 教授	
	782004	センサデバイス工学	1	王 璵 准教授	
	782005	計測システム応用学	1	紀和 利彦 教授	
	782013	画像処理・コンピュータビジョン特論	1	中澤 篤志 教授	
	782008	神経工学	1	楊 家家 教授	
	782009	生体信号計測学	1	高橋 智 准教授	
	782901	複合機能設計学	1	末次 寧 (非常勤講師)	
	782902	細胞制御材料学	1	山本 玲子 (非常勤講師)	
	782903	組織再建材料学	1	菊池 正紀 (非常勤講師)	
	783001	機能修復医学	1	松尾 俊彦 教授	
	783002	インタープロフェッショナルワーク論	2	笈田 将皇 准教授	
	783009	医療組織行動研究	1	渡邊 豊彦 教授	
	783010	看護科学II	1	原田 奈穂子 教授	
	783006	生命健康情報理工学特講I	1	笈田 将皇 准教授	
	783007	生命健康情報理工学特講II	1	笈田 将皇 准教授	
	783008	生体機能情報学特講	2	森田 瑞樹 教授	
	783901	臨床研究学	1	頼藤 貴志 教授	
	783902	医療技術臨床応用学	1	狩野 光伸 教授	
	783903	医療システムデザイン特論	1	松本 卓也 教授	
	784001	医薬品医療機器等法特論	1	穴戸 圭介 教授	
	784002	研究倫理と法特論	1	穴戸 圭介 教授	
784003	医療機器関連法特論	1	穴戸 圭介 教授		
784004	人間共生哲学思想特論	1	袴田 玲 講師		
784010	老いと看取りと死の日本文化特論	1	本村 昌文 教授		
784011	日本思想史・文化史特論	1	本村 昌文 教授		
784006	科学技術開発論	1	吉葉 恭行 教授		
784007	地域社会ヒューマンケア論	1	佐藤 吾郎 教授		
784008	臨床死生学特論	1	日笠 晴香 准教授		
784009	イノベーションのマネジメント特論	1	藤井 大児 教授		
784901	医療ビジネスマネジメント論	1	未 定 (非常勤講師)		
784903	リスクマネジメント論	1	未 定 (非常勤講師)		
修了要件 単位数					12単位以上

2. Graduate School of Interdisciplinary Science and Engineering in Health Systems, Doctor's Course Curriculum

REGISTRATION METHOD

- 1 Students must acquire 12 or more credits under the guidance of academic supervisor.
- 2 Acquire 7 credits required subjects from integrated subjects group.
- 3 Beside above, students may take subjects from other graduate school, which include subjects from the graduate school of another university, under the guidance of an academic supervisor.
- 4 Credits earned by taking courses in other graduate school may be recognized as Specialized Subjects toward the credits required for graduation.

Subject classification	Subject No.	Subject	Credits	Instructors	Remarks	
Integrated subjects	Required subjects	780101	Advanced Interdisciplinary Medical Sciences and Engineering	1	Respective Faculty Members	7 credits are required.
		780501	Research Works for Interdisciplinary Medical Sciences and Engineering	4	Academic Supervisor	
		780301	Advanced Internship for Interdisciplinary Medical Sciences and Engineering	2	Academic Supervisor	
Specialized subjects		781001	Regulation of Biological Functions	1	SERA Takashi, Professor	
		781002	Enzyme Mechanism and Function	1	MORI Tomoaki, Senior Assistant Professor	
		781003	Single molecule physiology	1	IDE Toru, Professor	
		781004	Signal Transduction and Drug Development	1	TOKUMITSU Hiroshi, Professor	
		781005	Advanced Cell Technology	1	KANAYAMA Naoki, Associate Professor	
		781006	Biomedical Materials Synthesis and Characterization	1	HAYAKAWA Satoshi, Professor	
		781007	Biomaterials Surface Science	1	YOSHIOKA Tomohiko, Associate Professor	
		781008	Chemical biology	1	OHTSUKI Takashi, Professor	
		781009	Design of protein molecules	1	FUTAMI Junichiro, Professor	
		781013	Biophysics	1	HIRANO Minako, Associate Professor	
		781012	Organelle Biotechnology	1	SATOY Ayano, Associate Professor	
		781014	Molecular transport science	1	WATANABE Kazunori, Associate Professor	
		781901	Advances of Tissue Engineering	1	MATSUMOTO Takuya, Professor	
		782001	Advanced Research on Human Interface	1	ABE Masanobu, Professor	
		782002	Mathematics and Physics for Information	1	AIDA Toshiaki, Senior Assistant Professor	
		782003	Network Performance Evaluation	1	YOKOHIRA Tokumi, Professor	
		782004	Sensing Device Technology	1	WANG Jin, Associate Professor	
		782005	Applied Measurement Systems	1	KIWA Toshihiko, Professor	
		782013	Image Processing Computer Vision	1	NAKAZAWA Atsushi, Professor	
		782008	Neuroengineering	1	YANG Jiajia, Professor	
		782009	Biomedical Signal Measurement	1	TAKAHASHI Satoshi, Associate Professor	
		782901	Design of Hybridized Functions and Materials	1	SUETSUGU Yasushi	
		782902	Design of Tissue Compatible Materials	1	YAMAMOTO Akiko	
		782903	Materials Design for Tissue Regeneration	1	KIKUCHI Masanori	
		783001	Functional recovery and reconstructive medicine	1	MATSUO Toshihiko, Professor	
		783002	Inter-Professional Work	2	OITA Masataka, Associate Professor	
		783009	Organizational Behavior Management in Health Care	1	WATANABE Toyohiko, Professor	
		783010	Nursing Science II	1	HARADA Nahoko, Professor	
		783006	Topics of Health Science & Life Science I	1	OITA Masataka, Associate Professor	
		783007	Topics of Health Science & Life Science II	1	OITA Masataka, Associate Professor	
		783008	Topics in Biophysiological Analysis	2	MORITA Mizuki, Professor	
		783901	Clinical Epidemiology	1	YORIFUJI Takashi, Professor	
		783902	Applying medical sciences and technologies to clinical practice	1	KANO Mitsunobu, Professor	
		783903	Advances of Medical System Design	1	MATSUMOTO Takuya, Professor	
		784001	Advanced Study of Pharmaceuticals and Medical Devices Law	1	SHISHIDO Keisuke, Professor	
		784002	Advanced Study of Research Ethics and Law	1	SHISHIDO Keisuke, Professor	
		784003	Advanced Study of Law on Medical Devices	1	SHISHIDO Keisuke, Professor	
		784004	Advanced Study in Philosophy of Human Con-viviality	1	HAKAMADA Rei, Senior Assistant Professor	
		784010	Special studies in Old age, care and death from the perspective of Japanese intellectual history	1	MOTOMURA Masafumi, Professor	
		784011	Special studies in the History of Japanese Thought and Culture	1	MOTOMURA Masafumi, Professor	
		784006	Development of Science Based Technology	1	YOSHIBA Yasuyuki, Professor	
		784007	The Theory of Human Care in Community	1	SATO Goro, Professor	
		784008	Advanced Study in Clinical Thanatology	1	HIKASA Haruka, Associate Professor	
	784009	Advanced Study on Management of Innovation	1	FUJII Daiji, Professor		
	784901	Management of health care business	1			
	784903	Theory of Risk Management	1			
Requirement for Graduation			More than 12 credits			

3. 学会発表・実践的活動等の単位認定

Credit Recognition of Academic Meeting Presentations and Practical Activities

学会に参加しての発表，またはインターンシップ等実践的活動をもって，研究科の単位として認定することができます。

学会発表の時間及び事前準備，事後報告等の時間を含め，各科目が指定している時間の学修などにより，単位数が定められています。成績評価は「修了」となります。

We grant students credit required to finish the graduate school with practical activities such as presentation at international conference and internship abroad and domestic. Grade evaluations are described as “Completed”.

『グローバル実践科目』 Practicum courses in global activities

授業科目名 Subjects	単位数 Credits	対象 Activities for Recognition
グローバル・プレゼンテーションA Presentation at International Conference A	1	国外開催の国際学会における発表 Presentation at an international academic meeting held overseas
グローバル・プレゼンテーションB Presentation at International Conference B	1	国内開催の国際学会における発表 Presentation at an international academic meeting held in Japan
インターナショナル・インターンシップ（短期） International Internship (short term)	1	国外における実践的活動 Practical activities at overseas
インターナショナル・インターンシップ（長期） International Internship (long term)	2	国外における実践的活動 Practical activities at overseas

『学外実践科目』 Practicum courses in domestic activities

授業科目名 Subjects	単位数 Credits	対象 Activities for Recognition
インターンシップ（短期） Internship (short term)	1	国内における実践的活動 Practical activities in Japan
インターンシップ（長期） Internship (long term)	2	国内における実践的活動 Practical activities in Japan

【単位認定手続】 Application procedure

申請期間 Application Period	年2回（6月と12月） Twice a year (June and December)	
提出書類 Documents to submit	単位認定申請書 Application form for Credit Recognition 学会等での発表，または研究機関，企業・団体等における実践的活動を確認できる証拠書類 Documents to proof your participation to the meeting or activities	
提出先 Place to submit	ホームページに掲載 Please check on HP	留学生：詳細は指導教員へ尋ねてください。 International Students: Please ask to your supervisor.

詳細は，研究科のホームページで確認してください。 Please check more detail with the URL.

<https://www.gisehs.okayama-u.ac.jp/student/recognition/flow/>

4. 岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科における博士論文の評価基準

Procedure of evaluation for the Doctorate Degree of Ph.D
Graduate School of Interdisciplinary Science and Engineering in Health Systems,
Okayama University

(審査体制) The jury

審査委員3人以上で構成される学位審査委員会を設置する。

The jury will be organized by three or more reviewers.

(審査方法) The defense

学位審査委員会の合議によって行う。また、審査にあたり論文発表会を開催するものとする。

The defense will be made by the presentation of the thesis submitted by the candidate. The award of doctoral degree will be judged by the jury.

(評価基準) The standard of evaluation

大学院ヘルスシステム統合科学研究科における学位(博士)論文は、以下の基準により評価する。

The thesis submitted to the Graduate School of Interdisciplinary Science and Engineering in Health Systems for the doctoral degree will be reviewed by the following points.

1. 博士論文申請者は、現場課題を整理して建設的な仮説を立てられ、その仮説を諸専門の手法を組み合わせながら適切な科学的方法で証明できる研究的能力を有することにより、社会の多様な現場で自ら方針を示して課題解決に貢献する専門知識と研究能力を身に付けていること。

The applicant submitting a doctoral thesis should have a potential to make constructive hypotheses by organizing ordinary issues, have a mind of scientific research to analyze the hypothesis through appropriate ways combining various specialized methods, and have the expertise and research skills that will help inspire the solutions showing his/her own ideas considering the situations in diverse and social fields.

2. 申請の博士論文は、事実に基づいた信頼に足るデータとそれらの真摯な考察を基に、明快かつ論理的に書かれていること。

The doctoral thesis should be logically clear, described by the candidate with his/her own words, original ideas, findings, discussions and conclusions based on the genuine facts and reliable data.

3. 論文記載の研究成果は、申請者による研究の成果であり、世界的視野で見て独創的で新規性に富み、価値ある結果を含んでいると認められること。

The content in the thesis should result from the research studies conducted by the candidate and contain the finding(s), which are recognized original, novel and valuable from a global perspective.

4. 研究が共同研究としてなされたものである場合、研究遂行が申請者によって主導的になされ、かつ重要な役割を果たしたことが認められること。

The candidate has to contribute in the major and significant part of the research with his/her leadership when the research is made in a collaborative manner.

5. 原則として、申請者を著者として含む参考論文が添えられていること。

In principle, the thesis should be followed by the published articles authored by the candidate as references.

なお、参考論文の詳細(必要論文数等)に関しては、正指導教員又は紹介指導教員が適切に申請予定へ周知することとする。

The supervisor or co-supervisor must inform the candidate in advance the detailed condition of references including the number of published articles that should follow the thesis he/she will submit.

以上